

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2016年7月1日 第29号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](#) [検索](#)

郵便振替 : 01710-8-68921 加入者名 : 阿弥陀寺事務所

熊本地震で被災された皆さま
心からお見舞い申し上げます



益城町 惣領神社

日出処
Shikoku

大谷 義文

長かった一日が終わろうとしていた。お寺に避難してきた友人家族は2階と一緒に、私は台所で深い眠りに吸い込まれた。ドッカーン、午前1時25分、深夜の爆音。テールの脚が顔面に直撃。テレビは吹っ飛び、電子レンジが転がった。鍋、皿は飛散。2度目の非常事態が発生した。激しく横揺れが続く。外へ出た。アスファルトの道路が割れ、ぶつかり合っている。不気味な音も聞こえる。何だろう、やがて緊急車両のサイレンが鳴り響いてきた。揺れ止まぬ余震のなか、車中に避難。朝を迎え、あたりは一変。あの不気味な音は、家屋倒壊のその時であったのだ。数日が過ぎた。お参りに伺うと、口々に「悲しかな」と言われる。「おばあちゃん、無事

でよかったね」「いやあ、悲しか。誰か知らんばってんが、死んだもんがおる。田んぼも壊れたって聞いたる」姉妹を亡くされたおばあちゃん。「悲しか、悲しかな。戦争であんなに悲しんだのに、また悲しまなならん」若松英輔氏の言葉。かつて日本人は「悲し」を「愛し」あるいは「美し」と書いて「かなし」と読んだ。悲しみにはいつも、愛しむ心が生きていて、そこには美としか呼ぶことができない何かが宿つてるといのである。それは、苦境にあつても、日々を懸命に生きる者が放つ、あの光のようなものに他ならない。(抜粋)「父です。供養してください」。小さなお骨を見せた女性。倒壊したお墓から、持って来たという。彼女も泣いていた。

佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

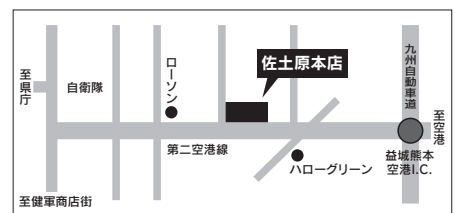
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>



寺子屋

日時・8月16日(火) 午後2時から5時(終了後、懇親会)

講師・安田登 師 (東京 能楽師・こども能チャレンジ講師)

講師・「武士のストレス解消法は、能の謡だった」

※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

『御修行奮闘記』

釋・博真(栃原真人)

大地震の翌朝、「倒壊した墓からお骨が散乱している、どうしよう」と相談があった。

益城町の南方に位置する、ある墓地へ向かった。軽トラックを走らせると車窓から、倒壊した家屋、被害の大きさを実感する。小雨の降りしきるなか、墓地に到着。その光景に



お骨を整理し管理する (栃原)

しばし呆然とした。地盤が波打つように割れて、どうすればこうなるのか皆目理解できない。さらに、どこから手をつけていいのかもわからない。

「とにかくお骨だけ集めよう」、男性数人で墓石を持ち上げる。足場が悪く雨で手がすべる。

「せーの」、わずかに持ち上った隙間からお骨を拾う。しかし、どれも骨壺が割れ、何方のものかわからない。「仕方がなか、この際だけん、ご先祖の骨をまとめてください」

「少なかけど親父の骨だけん、新しく入れてもらえんだろうか」

皆さまから言われたことを、間違えないようにメモに記す。作業終了。預かったお



倒壊した墓地 (益城町)

骨の重さを感じながらお寺に帰った。

後日、皆さまがお参りにいらつしやった。きれいにした骨壺を確認していただく、安堵された様子。お茶をいただきながら、話を聞く。

「まだ、車中泊しながら仕事に行つとります」
「半壊した家のことや今後の生活も大事ばつてん、ご先祖さまも気になつとです。そこが落ち着

猫伏石の声

○熊本地震

熊本地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

お寺の納骨堂は、被害がございませんでしたので、未確認の方はご安心ください。

墓地の倒壊による、お骨の散乱、骨壺の破損、また、仏壇を失くされた方は、ご連絡願います。

お参りできるようご本尊(下記)、骨壺を準備しています。両方、無料です。(096) 289・0424

かんと気持ちに前に進まん気がするのです」

「ご先祖が避難できて、とにかく安心しました」
皆さまの言葉に聞き入った。位牌や写真、お骨はご先祖そのものであり、仏壇やお墓がご先祖の住処であるという深い思いを知らされた。

墓石の倒壊で、お困りの方がいらつしやいましたらご相談ください。



ご本尊 (高17cm幅26cm)

○こども能チャレンジ
被災により、会場が整いません。中止いたします。すことをご了承願います。

○秋彼岸会法要

9月18日(日)
午後1時30分読経
法話 安田登師

私が、出動いたします。もちろん料金はかかりませんのでご安心ください。



倒壊した墓地 (益城町)

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン
(家族・親族の安心プラン)
他のプランもごございます。

30万円より

以下の内容が含まれます。

- 御棺一式
- 納骨一式
- 霊柩搬送
- ドライアイス
- 遺影写真
- 生花祭壇

含まれないもの・・・ 返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)
益城町宮岡 547-3 096-286-4640
携帯 090-5214-4640

〒4 info@kiyamasougi.com

